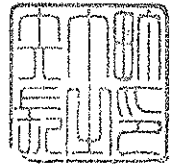




19 矢道第 320 号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 殿

矢 巾 町 長
川 村 光 朗



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

新緑の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますのでよろしく
お取り計らい願います。

担当

矢巾町道路都市課

地域整備係

梶原伸一

019-611-2631 (直通)

019-611-2629 (FAX)

・重点化を進める上で特に優先度の高い施策

本町は県都盛岡市と隣接する人口約 27,300 人の町ですが、広域都市計画により定期的な市街地拡大が図られており、このことから人口増加が著しく、相対的に自動車交通量も増加しております。

このような中、平成 19 年度 4 月には、本県最大規模の医療施設である岩手医科大学付属病院が経営する薬学部が開校し、今後においても計画的建設計画の下、平成 33 年には大学病院本体が開院されることとなっております。

本町におけるこれまでの道路施策の基本は国道 4 号をはじめとする、南北軸を基本とした幹線道路整備が中心となっており、東西軸に沿う道路整備は立ち遅れております。

このことから平成 33 年の大学付属病院本体開院にあたり下記事項を意見いたします。

記

- 1 本県の高次医療施設である岩手医科大学付属病院への広域的アクセス機能強化のため、東北自動車道、並びに国道 4 号から直接アクセスの出来る緊急輸送道路の重点的整備を要望します。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

市町村合併が進む中、以前のように自治体ごとに道路財源を配分、予算化し、一つの自治体内で完結するような道路整備は住民全体の理解を得ることが出来ない時代となって来ていると思われれます。

少ない予算の中でいかに効果的に道路整備を進めてゆくか大きな課題であると認識しておりますが、考えられることは、一つの自治体内に居住する大半の住民から評価されるような道路計画を立案する必要があるものと思われれます。このことは今後の協働社会形成に寄与するものでもあり本町においても今後の道路計画作成に当たっては深く考えて行かなければならない事案であると思われれます。したがって、効率化を徹底的に進める上で重視すべき事項として下記事項を意見いたします。

記

- ・既存の道路網を最大限利活用した中での広域的な道路網の整備
- ・住民からの理解が得られるような道路計画の策定
- ・画一的道路構造を見直し、地域状況（交通量）に即した道路整備基準の策定

・その他道路施策や道路の整備・管理全般に関するご意見

記

・現在本町が行っている道路事業において、補助事業は「市町村直接要望制度」のみとなっておりますが、この補助制度は維持管理に係る国費充当が見込め、町にとりましては大変ありがたい補助メニューとなっておりますので今後とも、補助制度を継続していただきたいと思っております。

又、要望額に対する充当率が、本町の場合、平成19年度内示で61%となっておりますが、出来ることであれば充当率の向上について切に要望いたします。

・今後の道路整備において地域協働社会の構築と併せ、簡易的な道路維持工事等行われる時代が到来するものと思われませんが、この事業に補助導入を図れるようなシステムづくりを行う必要があるものと思われま。

以 上